

会員ご加入とご寄付のお願い

麗澤海外開発協会では、皆様からいただいた会費や寄付金・竹原基金は、開発途上国への教育・医療支援活動や、海外において自然災害などが発生した場合の緊急支援活動等に役立てています。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

種類	会費(年額)
個人会員	1口 10,000円(1口以上)
法人会員	1口 10,000円(1口以上)
準会員	1口 2,000円(1口以上)
竹原基金	任意の寄付金を募ります
一般寄付金募金	任意の寄付金を募ります

郵便振替

口座番号 ● 00120-6-499164
名義 ● 一般財団法人麗澤海外開発協会

銀行口座

三菱東京UFJ銀行 松戸西口支店
口座番号 ● 普通 4057567
名義 ● 一般財団法人麗澤海外開発協会



*募金箱・振込用紙等をご希望の方は下記にご連絡ください。

一般財団法人 麗澤海外開発協会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

TEL 04-7173-3165

E-mail kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

FAX 04-7173-8953

URL <http://www.reitaku.or.jp/>

子供たちの
未来のために
~「心の通い合う国際協力」~
を推進しています



一般財団法人麗澤海外開発協会(RODA)は、昭和46年(1971年)に設立されて以来、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に人材育成や技術支援・教育支援等を推進しています。



RODA 一般財団法人
麗澤海外開発協会
Reitaku Overseas Development Association

<http://www.reitaku.or.jp/>

「心の通い合う国際協力」を進める

一般財団法人麗澤海外開発協会 会長

廣池 幹堂



麗澤海外開発協会(RODA)は、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年(1971年)に外務省所管の財団法人として設立されました。以来40年以上にわたり、微力ながらも開発途上国における人材育成や技術支援・教育支援に取り組み、平成25年4月には、内閣府より新たに一般財団法人として認可されました。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスとカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。

また、アジアの子供たちのための奨学金制度「竹原基金」も設置しております。これは、当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠したものです。この基金を生かして、貧困等の理由で学校へ通えない、アジアの多くの子供たちへの教育支援を進めています。

さらに、ボランティアの一環として、タイ、ラオス等におけるスタディツアーも実施しています。このツアーには学生・生徒・青年たちが参加し、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して国際協力への理解を深めています。

ささやかではありますが、「世界の平和、人類の安心と幸福の増進」に寄与するため、これまでの経験と実績を踏まえて若い世代の育成にも貢献し、「心の通い合う国際協力」をいっそう推進していきたいと願っております。

沿革

- 1964 ラオス王国ビエンチャン商工会議所から農業開発指導の要請を受け、奥平定世氏(麗澤大学教授)が現地を視察。
- 1969 ビエンチャンのレイタク・カンバイ農場に海外開発指導要員を派遣する。
- 1971 外務省より財団法人の認可を受ける。1972年、レイタク・カンバイ農場で蚕室等の建設を開始する。
- 1976 ラオス王国の政変のため、ラオス養蚕開発事業の完全撤収を決定。
- 1977 コスタリカでの花卉栽培事業が提案され、調査団を派遣。
- 1978 レイタク・コスタリカ株式会社(現地法人)を設立する。
- 1983 アメリカへの薬物輸出事業と日本への観葉植物のコンテナ輸出を開始する。
- 1991 コスタリカにおける事業目的を達成し、第1農場をコスタリカ大学へ、第3農場をコスタリカ政府へ寄贈。
- 1992 ネパール東洋医学専門学校(OTTC)を視察し、1993年に鍼灸の指導者を派遣する。
- 1996 ネパール東洋医学専門学校の第1回卒業式が行われ、卒業生に「モラロジー賞」を授与する。
- 1998 ネパール第2期プロジェクトとして無料巡回治療(ヘルスキャンプ)を開始。
- 2002 タイ北部のメーコック・ファーム(現・メーコック財団)への支援を開始する。
- 2003 竹原茂(当協会副会長)の名を冠した「竹原基金」を設立。
- 2004 ネパール第3期プロジェクトとしてクリニック兼もぐさ工場を建設する。
- 2008 MIRC(モラロジー国際救援運動推進委員会)の事業を統合。ミャンマー・サイクロン被害および中国・四川大地震被害に対して国連UNHCR協会を通じて緊急支援を実施する。ラオス・サワンナケート県タート・インハン小学校校舎再建への支援と助成を実施する。第1回チャリティーコンサートを開催する。
- 2009 ネパール人鍼灸専門家2名を日本に招聘し、技術向上の研修とネパールの鍼灸治療の現状報告会を開催する。
- 2010 ハイチ大地震被害に対して国連UNHCR協会を通じて緊急支援を実施する。
- 2011 カンボジア・コンポントム州にあるベン・ロヴィア・レー小学校校舎とラオスのサワンナケート県にあるタート・インハン小学校の図書館建設を実施する。第2回チャリティーコンサートを開催する。
- 2013 ラオスのサワンナケート大学に図書2,000冊を寄贈する。4月1日付で内閣府より一般財団法人の認可を受ける。ネパールのカリカ高等学校への支援を行う。フィリピンの台風被害に対して国連UNHCR協会を通じて緊急支援を実施する。
- 2014 アジアからの留学生招聘事業を開始する。



世界の平和、人類の安心と幸福をめざして



タイ 教育支援活動



生活が困窮するタイ北部の少数民族の子供たちの生活・教育支援施設を運営する現地法人に対する教育支援を行っています。



ラオス 教育支援活動



図書館



教育のハード・ソフト両面の整備が急がれる中、小学校校舎や図書館の建設、教育図書の寄贈等、現地への教育支援活動を推進しています。

*アジアからの留学生招聘事業も実施しています



ネパール 医療支援活動



クリニック兼もぐさ工場を建設し、ネパール人鍼灸師の技術向上のための指導や無医村で行う無料巡回治療(ヘルスキャンプ)を運営する現地NGOに対して支援しています。

スタディツアー

タイ、ラオス等へのスタディツアーには、学生・生徒、青年たちが参加し、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して国際協力への理解を深めています。



海外への緊急支援

海外において自然災害等が発生した場合の緊急支援活動を行っています。